

# 見つける つながる 支え合う あなたのまちの コーディネーター

ご存知ですか？

<第2号> 生活支援体制整備推進事業  
令和3年11月24日発行

## 生活支援コーディネーターって何をする人？

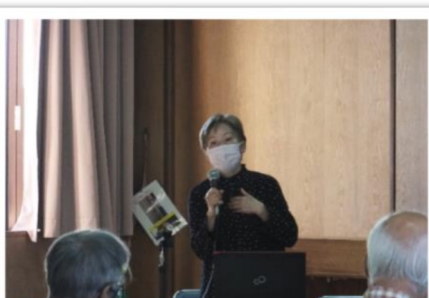
生活支援コーディネーターは、地域住民や地域組織、ボランティアなどと連携しながら、住民同士の支え合い活動の仕組みづくりを一緒に考えていきます。町内会・自治会や地域の活動の場に出向きますので、みなさんのお話を聴かせてください。

## 市民フォーラム「ともに支え合う地域づくり～住み慣れた地域でいきいきと～」

令和3年10月23日(土曜日)、印西市中央公民館にて市民フォーラムを開催しました。

前半では、講師の方からご自身の助け合い活動の経緯や取り組みを交えて、地域での支え合い活動の必要性についてご講義いただきました。また後半では、5名の生活支援コーディネーター(以下、SC)から、これまでの活動の報告がありました。

参加者からは、「地域共生社会とは何かが少しわかった気がする」、「私も福祉に少しでも役に立てるよう心構えができた」、「SCの活動報告が聞けて大変よかった」、「様々な取り組みがされていることを理解した」との感想がありました。



講師:さわやかインストラクター 國生氏

### SCの活動報告！



「らーばんねっと」さんの取材も入りました！



## 生活支援体制整備推進事業を知るための

ワンポイント！👍

今回は、社会保障や介護保険制度、地域包括ケアシステムなど様々な場面で頻繁に出てくる「自助」・「互助」・「共助」・「公助」についてです。

生活支援体制整備推進事業を説明したり、進めていく上でも欠くことのできないワードです。

- ・自助…自分や家族でできることは、自分で行うこと
- ・互助…隣近所で助け合うこと
- ・共助…地域の関連団体や事業者等が協力し合うこと
- ・公助…個人や地域で解決できない課題に対して、行政や公的機関などの各種サービスを活用し、課題解決を図ること

(「第4次印西市地域福祉計画」より)

生活支援体制整備事業では、住民が主体となった取り組みにより、「自助」・「互助」・「共助」を高めていく取り組みを進めています。

地域への熱い思いをもって！

## 団体紹介



# 子どもの居場所づくりに取り組む団体を 生活支援コーディネーターが取材してきました！

社会福祉協議会  
大森・永治支部長  
海老原さん

これまでの支部社協での活動や主任児童委員との関わりなどから、「地域に必要なのは子どもたちへの支援である」と感じ、旧大森保育園跡地が支部社協の活動拠点となったのを機に『子ども食堂』を始められたそうです。将来的には、子どもから高齢者まで地域に開かれた場所になることを目指しており、これまでも多くの地元のボランティアや農家の方の支えのもと開催してこられたとのことでした。

「子ども食堂、子どもたちの学習支援に興味ある方、とにかくやってみてください！最初の立ち上げは支援します！」と心強いお言葉をいただきました。

寺子屋  
&  
子ども食堂  
"さくら"  
山野さん

子どもたちの居場所をつくり、様々な人たちの多様な価値観に触れることができる『だんらん』を提供したい！そんな思いから、市民アカデミーで出会った仲間たちとともに始めたのが「寺子屋&子ども食堂”さくら”」。

コロナの影響を受け、当初予定していた活動はできませんでしたが、令和2年度は8月に印旛公民館・印旛支所を会場とした学習支援とニュータウン地域での食材配布活動を実施しました。令和3年度も精力的に活動を展開していく予定とのことでした。

最後は、「楽しんでやること！」とステキな笑顔でお話してくださいました。



寺子屋&子ども食堂”さくら”さんの活動から  
リース作りに取り組んだ1コマ



社会福祉協議会大森・永治支部さんの活動から  
学習風景の1コマ



みんな、真剣に  
取り組んでるなあ

短歌・川柳コーナー

俳句

大根干す夫唱婦随の爺と婆

喜々としてグラウンドゴルフ秋高し

川柳

自粛明け六波懸念す心配性

滝野 大友 清子

滝野 佐藤 絹子

滝野 大友 俊彦

### 発行・問い合わせ

印西市高齢者福祉課包括支援係	☎33-4593
印西市社会福祉協議会	☎42-0294
印西北部地域包括支援センター	☎85-4085
印西南部地域包括支援センター	☎37-3120
船穂・牧の原地域包括支援センター	☎29-4001
印旛地域包括支援センター	☎33-7062
本埜地域包括支援センター	☎85-4845

